

記者懇談会の記録

日 時	令和 6 年 11 月 28 日（木） 15：30～15：50
場 所	岩見沢市役所 3 階 会議室 3-1・3-2
記者数	5 人

1 ヤングケアラー支援の取り組みについて

（市長）

岩見沢市のヤングケアラー支援に関して、考え方なのですが、ヤングケアラーに関する問題は家族が抱える問題であると私どもは捉えていますし、認識もしています。従いまして、ヤングケアラー本人だけでなく、家族を支援することがまさに必要で、重要だと思います。

また、一家族だけで解決できるような問題ではなくて、市全体の問題として考えていくこと、そして、取り組んでいくことが必要であるとも考えています。

ヤングケアラーという言葉自体には、今、親や家族を責める言葉のように捉えられがちな側面もありますが、問題解決につながる言葉として使いたいと考えています。

その支援ですが、こども家庭センターに配置しているヤングケアラーコーディネーターが相談に応じています。まずはゆっくりお話を伺って、何ができるか、あるいは何が必要なのかを一緒に考えていくことから始めています。

そのご家庭の状況に応じて、各種サービスの紹介を行い、希望に応じてサービスが利用できるように支援してまいります。

これまでの取り組みとしましては、実際にヤングケアラーがいるご家庭への家事支援として、特別育児支援ヘルパーの派遣を行ったほか、啓発事業として研修会を毎年実施しており、今年度は 8 月と 9 月の 2 回開催をしています。

今後の取り組みですが、相談しやすい環境づくりとして、電話や来庁による相談のほか、メールによる相談対応も 12 月 2 日から開始することとしています。

悩みを抱えたお子さんやご家庭の方々、ヤングケアラーかもしれないと気付いた地域の大人の方など、悩んだとき、気付いたときにはこども家庭センターにご相談いただくようお願いします。

<質疑応答>

（北海道新聞）

今後の取り組みのこのメールアドレスなのですが、これはヤングケアラーの相談専門のアドレスと考えてよろしいのでしょうか。これまでもあったものなのか、新たに作ったものなのか。

（健康福祉部長）

新しくお知らせするものですが、ヤングケアラーだけではなく、こどもに関する相談をすべてここで受けるというようなものになります。

2 闇バイト強盗や特殊詐欺などの防犯に関する注意喚起

(市長)

市の防犯対策についてです。今年の 8 月以降、首都圏では凶悪事件が相次いでいます。道内においても札幌市で発生しており、岩見沢市といたしましても、岩見沢警察署等の関係機関と連携を図りながら周知啓発を強化しているところでございます。

以前の闇バイトは「高額即入金」や「即日現金」などの甘い言葉で募集を行っているケースが多かったようですが、最近では「ホワイト案件」ですとか「コールセンター」等のごく普通の求人広告で募集している実態があり、それを信用して応募してしまった方々が、特殊詐欺の受け子や強盗等の犯罪に手を染めてしまうケースが多いということです。

楽に、誰でも、短時間で、たくさん稼げる仕事はありませんので、そのことで一生を棒に振ることになりかねません。求人情報はまずは細かく確認をして「闇バイト」に取り込まれないようにしていただきたいと思います。

次に、防犯対策についてですが、具体的な防犯対策のポイントをいくつか申し上げたいと思います。

まず、不審な電話がかかってきた場合は相手に個人情報をお教えしない。就寝時だけでなく在宅時も戸締まりを徹底する。窓からの侵入を防ぐために、補助錠の取り付けや防犯フィルム、防犯ガラスなど防犯性能の高い部品を用いる。また、センサーライトや防犯カメラの設置も効果的です。固定電話は、在宅時も留守番電話にする。知らない人からの電話には出ない。相手を確認してから電話に出るといった、犯人と会話せずに済むような手立ても必要だと思います。大金は保管せずに、金融機関に預けるといったことも重要なのかなと思います。さらに、実際に侵入されたら命を優先する。お金や財産よりも自分やご家族の命を守ることを最優先にする。犯人が事前に現場を下見している場合もありますので、不審を感じた場合は、迷わず 110 番通報を。

以上、強盗事件に関しての注意事項ですが、特殊詐欺についても岩見沢市内において不審な電話が確認されておりまして、市役所にも複数の通報がなされている現状です。闇バイト強盗や特殊詐欺は、事前に電話などで被害者の情報を手に入れてから犯行に及んでいるケースもあり、先ほどポイントとして申し上げました、固定電話等の注意など、犯人から直接の電話を受けないことが被害防止に有効となりますし、家族と普段からこまめに連絡を取り合って、合言葉を決めておくなど、家族で協力して特殊詐欺を防ぐことも重要です。

日頃より防犯意識を持って、不審者を目撃したり、何か異変を感じたりしたら、ためらうことなく、すぐに 110 番通報をしていただくようお願いします。

<質疑応答>

(HBC)

先ほどの不審電話の関係ですが、例えば市の職員をかたるとか、市の組織をかたるとか、そのような例もあるのでしょうか。

(市長)

そういう例もあります。警察からの情報を得て市の SNS でも周知している事例には、市の職員をかたる電話があり、そういった不審電話などは、把握できればすぐ市からもお知らせするように、そういう防犯対策をしまっています。

3 その他記者から質問

< 質疑応答 >

(北海道新聞)

3 点お伺いします。

まず、先日道の方でも少し話題になっていました猟友会の関係で、市として何か対応を取るか、また、猟友会から何か働きかけがあったとか、そういった動きがもし市関連であればお伺いしたいと思います。

それと、これもまた全国の動きではありますが、103 万の壁を受けて、自治体の財政への影響というのが結構各地で出ているのですが、そのあたり、市としての試算ですとか、何か分析されている部分があればお伺いしたいと思います。

あともう一点、これも灯油の値段が、冬に向けて高止まりするというようなところもあるので、何か低所得者への対策ですとか、福祉灯油とかですね、そのあたりの対応がもしあればお伺いしたいと思います。

(市長)

まず猟友会ですが、砂川の一件があって、特に裁判が起こされて高裁の判決が出て、新聞にもいろいろ出ましたし、その前にも奈井江で猟友会は駆除をしないと、そういうような課題もありましたので、猟友会とはその頃から、普段からですが、やはり意思疎通だけはしっかり、情報共有を図っています。

現時点で岩見沢の駆除に関しては箱わなが中心の駆除ということで、市街地でのケースはほとんどないのですが、市街地でのケースということも考えられますので、実は明日、岩見沢市、猟友会、岩見沢警察署、それから空知総合振興局の 4 者で協議することになっています。いろいろ情報共有を図るということで。猟友会としては、岩見沢は行政等も含めて良好な関係なので、駆除の依頼を断る基本的な考え方はないということですが、改めて、それぞれの課題があるのは事実ですから、そこは情報共有して、しっかり対応していきたいと思っています。

それから 103 万の壁ですね。市で試算したのですが、約 11 億円の個人市民税の減収に繋がります。その他にも交付税総額が減ることになりますから、その影響もそれにプラスされるというようなこともあるかと思います。

ただ、現状まだどういう制度設計になるのか、その補填を、特に全国知事会などは、交付税並みに一般財源としてきちんと国が責任を持って議論をして措置をしてくださいと言っていて、その議論もありますので、非常に注視していますが、北海道新聞さんで札幌市の例で約 3 割と出て

いましたけれども、やはり岩見沢市も約 3 割の影響が出るということになるのかと現時点では試算をしています。

それから灯油等の対策ですが、物価が高止まりしていますし、これから積雪寒冷の時期に入りますので、低所得者に対する 3 万円ですとかこどもに 2 万円の給付なども国の補正予算でいろいろ出てくるのでしょうか、ただまだ細かな要綱等も示されていないので、それはそれで出た段階できちんと適切に対応しますが、そういう灯油対策なども、交付金の残りがまだありますので、それをそちらの方に振り向けていくような考え方で、今庁内で検討しています。

(北海道新聞)

103 万円の壁、税収という意味では非常に市財政への影響も大きいかなと思うんですけども、その引き上げるということに関しては、市長としては賛成反対というようなものではないかもしれないですけど、どういうお考えでしょうか。

(市長)

基礎控除は、やはり上げることは基本的に必要だと思います。

その点に関してもいろいろな議論があるのですが、ただ、現状と比べて地方自治体の一般財源が大きく減るということは、それは何としても避けていただきたい。そこはやはり丁寧な、しっかりとした議論をしていただきたい。ただ単純に上げればいいという訳でもありませんし、上げるに際しても、基準に関する議論もいろいろあるのですが。

また特定扶養控除の問題もありますから、トータルで考えていただかないとどうしようもないと思います。特に特定扶養控除などが影響を受けると、市の方の、非課税判断の基準が変わりますので。ですから、従来非課税世帯でカウントしていて、例えば就学援助の関係ですとか、あるいは非課税世帯を対象にしていた給付ですとか、そのライン自体が変わってくると対象が変わってくるので、そこもやはり丁寧な議論が必要だと思います。基本的には国は、そこに影響が出ないように、というようなことは先日少し説明を受けてきましたけれども。

(注) この記録は、重複した言葉遣いや明らかな言い直しがあつたものなどを整理した上で作成しています。(作成：総務部秘書課広報室)